

3-10 その他施設

3-10-1 福祉事務所

(1) 配置状況

福祉事務所は、昭和40年に東京都から移管されており、区内に3施設あります。生活の相談、ひとり親家庭・女性・児童・心身障がい者・おとしよりの相談などの福祉に関する様々な相談事業を実施しています。

3施設のうち2施設は民間の建物に間借りしています（仮庁舎へ暫定的に移転している1施設を含む）。3施設とも比較的新しい建物に入居しており、老朽化や耐震面での大きな課題はありません。



図 3.63 施設配置図（福祉事務所）

(2) 管理運営経費

管理運営経費は、下表のとおりとなっています。

表 3.23 管理運営経費（平成 23 年度）

施設種別	管理運営経費		
	内訳		一施設の平均
福祉事務所 (3)	物件費	32 百万円	600 百万円
	維持補修費	0 百万円	管理運営経費の合計額
	人件費	1769 百万円	1801 百万円

※板橋福祉事務所は「仮庁舎維持管理経費」から、赤塚福祉事務所は赤塚支所の管理運営経費(人件費を除く)から、面積比率により按分算出し、按分額は物件費に算入しています。また、板橋福祉事務所は、仮事務所であるため、賃借料は含んでいません。

(3) 各施設の現況

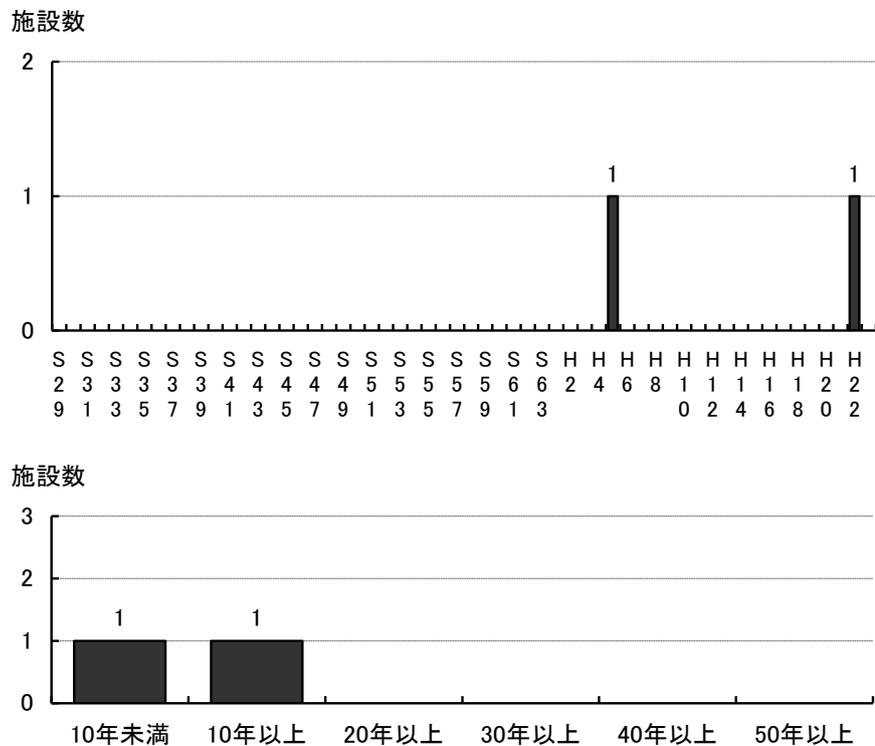
① 福祉事務所

(i) 地区別・築年別にみた設置状況

福祉事務所は、板橋地区、下赤塚地区、蓮根地区にそれぞれ設置されており、計 3 施設設置されています。3 施設とも比較的新しい建物に入居しており、老朽化や耐震面での大きな課題はありません。なお、生保受給者の急増に伴い職員数が増加しており、事務所スペースの不足が喫緊の課題となっています。

福祉事務所

地域	地区	施設数
板橋	板橋	1
	熊野	0
	仲宿	0
	仲町	0
	富士見	0
	小計	1
常盤台	大谷口	0
	常盤台	0
	桜川	0
	小計	0
志村	清水	0
	志村坂上	0
	中台	0
	前野	0
	小計	0
赤塚	下赤塚	1
	成増	0
	徳丸	0
	小計	1
高島平	蓮根	1
	舟渡	0
	高島平	0
	小計	1
	合計	3



※板橋福祉事務所は、仮事務所であるため記載していません。

図 3.64 地区別・経過年別設置状況（福祉事務所）

3-10-2 高齢者集会施設

(1) 配置状況

いこいの家は高齢者にいこいの場を提供し、その福祉増進に寄与することを目的として区内に 14 施設。ふれあい館は高齢者福祉の向上及び社会福祉活動の推進を目的として区内に 5 施設あります。いずれも 60 歳以上の方が利用することができ、施設内に広間や浴室、囲碁将棋スペースなどが備えられ、ふれあい館や一部のいこいの家では介護予防事業が行われています。

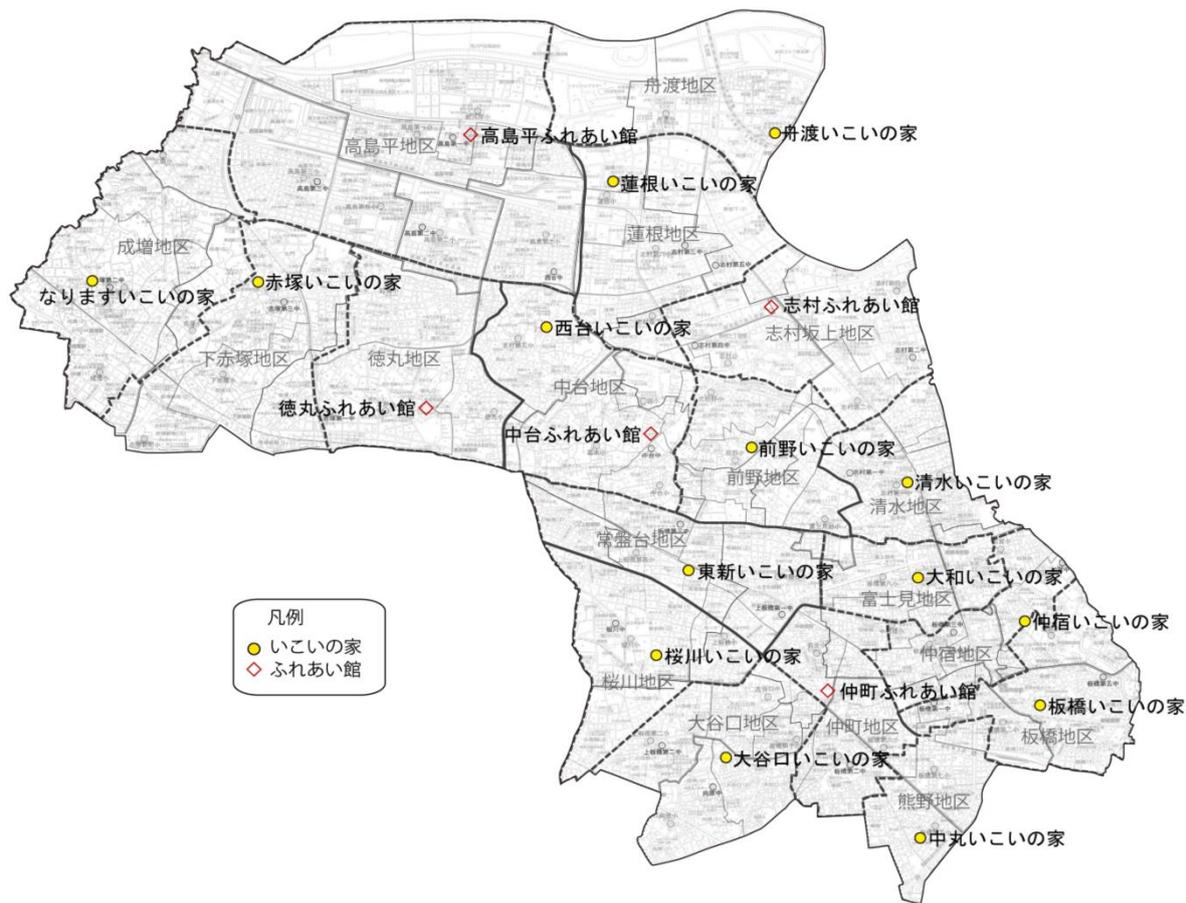


図 3.65 施設配置図（高齢者集会施設）

(2) 管理運営経費

管理運営経費は下表のとおりとなっています。

表 3.24 管理運営経費（平成 23 年度）

施設種別	管理運営経費		
	内訳		一施設の平均
いこいの家 (委) (14)	物件費	121 百万円	9 百万円
	維持補修費	5 百万円	管理運営経費の合計額
	人件費	物件費に含む	126 百万円

(ii) 他区との比較

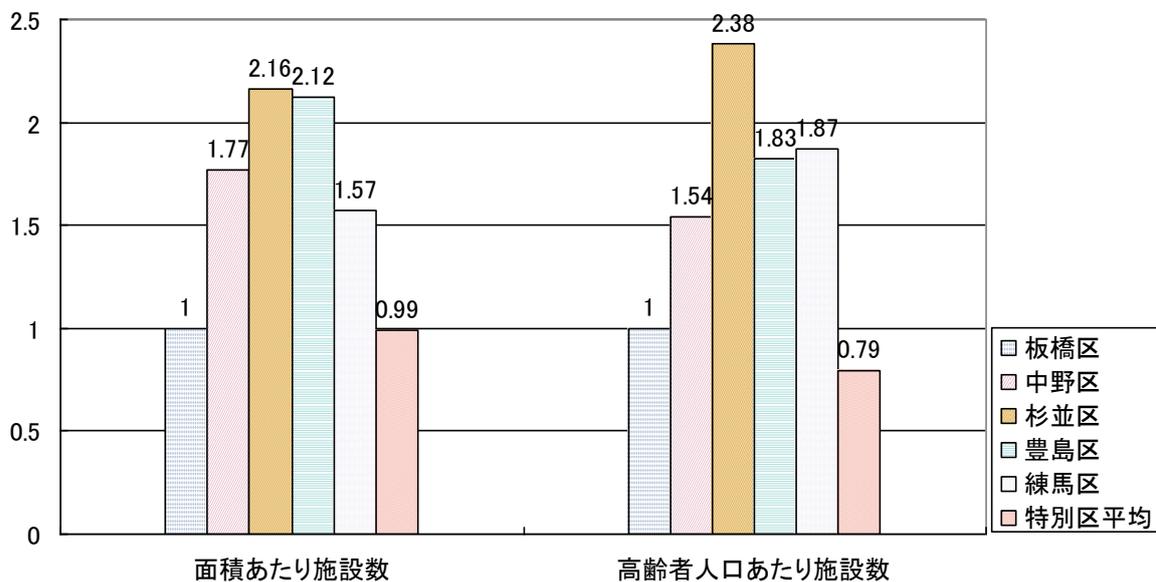
面積あたり施設数、高齢者人口あたり施設数ともに、同一ブロックで比較すると低い水準にあると言えるものの、特別区平均並みの水準は確保されていることがわかります。

いこいの家単独での比較では低い水準となっていますが、類似施設である「ふれあい館」の整備数は同一ブロックで最も多くなっていることから、類似施設を含めた検討が必要な施設であると考えられます。

表 3.25 他区との比較一覧表

	施設数	面積あたり施設数 (施設数/k m ²)	高齢者人口あたり施設数 (施設数/千人)
板橋区	14	0.44	0.13
中野区	12	0.77	0.20
杉並区	32	0.94	0.30
豊島区	12	0.92	0.23
練馬区	33	0.69	0.24
特別区平均	11.6	0.43	0.10

出典：板橋区資料



出典：板橋区資料

図 3.67 他区との比較（板橋区の整備水準を1とした場合）

(iii) 利用状況の推移と整備状況の推移

平成8年以降では、1日あたり平均利用者数は減少傾向にあるものの、近年はほぼ横ばいに推移しています。平成21年度に1館が廃止されています。

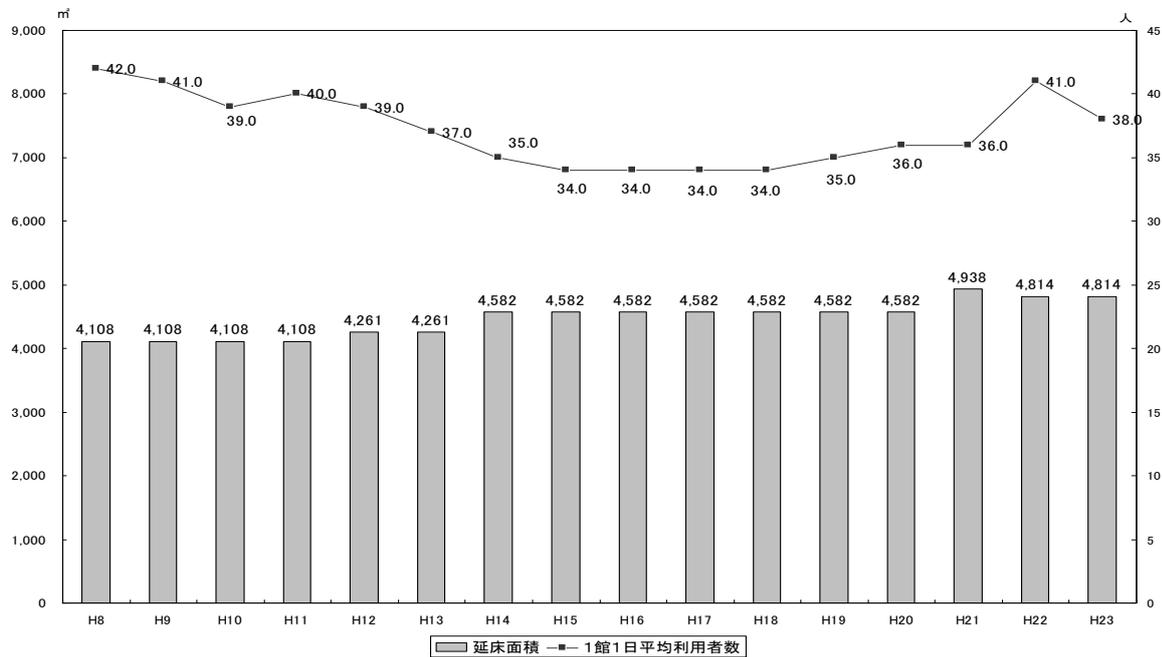


図 3.68 1日あたり平均利用者数と保有面積の推移

(iv) 施設ごとにみた利用状況の把握

いこいの家は、施設ごとに1日平均利用者数に大きなばらつきがあり、これに伴い、利用状況にも大きなばらつきがあることがわかります。

また、当該地区の高齢者人口が多いほど、利用者数が多くなるとは必ずしも言えず、高齢者人口の少ない地区においても利用者数の多い施設も複数あります。

地域	地区	施設名称	築年数	年間利用者数	1日平均利用者数	各地区の高齢者人口
板橋	板橋	板橋いこいの家	22	15,132	41	5,032
	熊野	中丸いこいの家	18	9,297	25	4,013
	仲宿	仲宿いこいの家	21	6,297	17	4,095
	富士見	大和いこいの家	29	7,934	22	4,463
常盤台	大谷口	大谷口いこいの家	24	12,169	33	6,620
	常盤台	東新いこいの家	30	6,504	18	6,249
	桜川	桜川いこいの家	12	6,243	17	4,081
志村	清水	清水いこいの家	3	25,334	69	4,644
	中台	西台いこいの家	21	8,531	23	8,471
	前野	前野いこいの家	17	12,381	34	5,364
赤塚	下赤塚	赤塚いこいの家	24	11,174	31	6,015
	成増	なりますいこいの家	31	8,589	24	7,162
高島平	蓮根	蓮根いこいの家	34	12,910	35	7,532
	舟渡	舟渡いこいの家	10	8,349	23	1,234
平均値				10,775	30	-

※利用状況は平成23年度の実績

図 3.69 施設ごとにみた利用状況の把握

(v) 将来LCCのシミュレーション

将来 50 年間で年度あたり平均費用は約 0.8 億円、平成 37 年度まででは約 0.6 億円が必要となります。累計のコストは 50 年間で 33.1 億円、平成 37 年度までで 8.4 億円かかります。

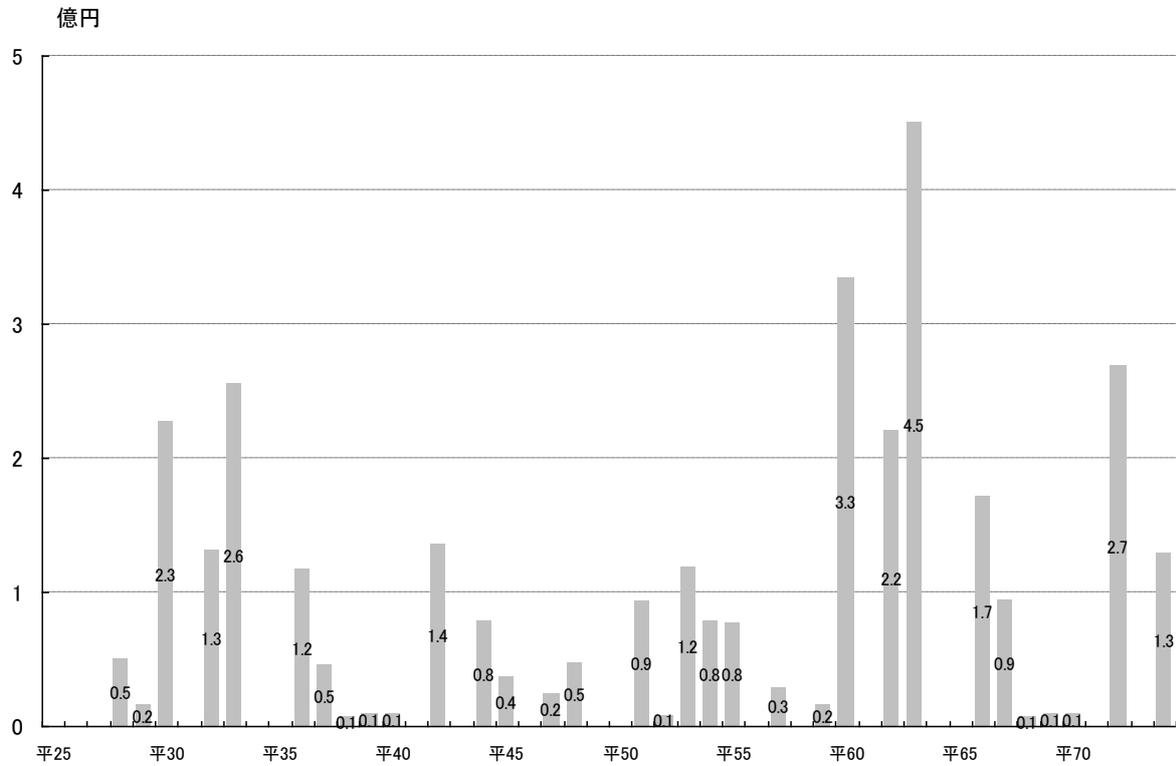


図 3.70 LCC算出結果 (いこいの家)

② ふれあい館

(i) 地区別・築年別にみた設置状況

ふれあい館は、昭和39年に東京都から1施設の移管を受け、その後整備を進め、現在、原則として概ね1地域に1施設、計5施設あります。築年数30年未満の施設が4施設、30年以上の施設が1施設となっています。

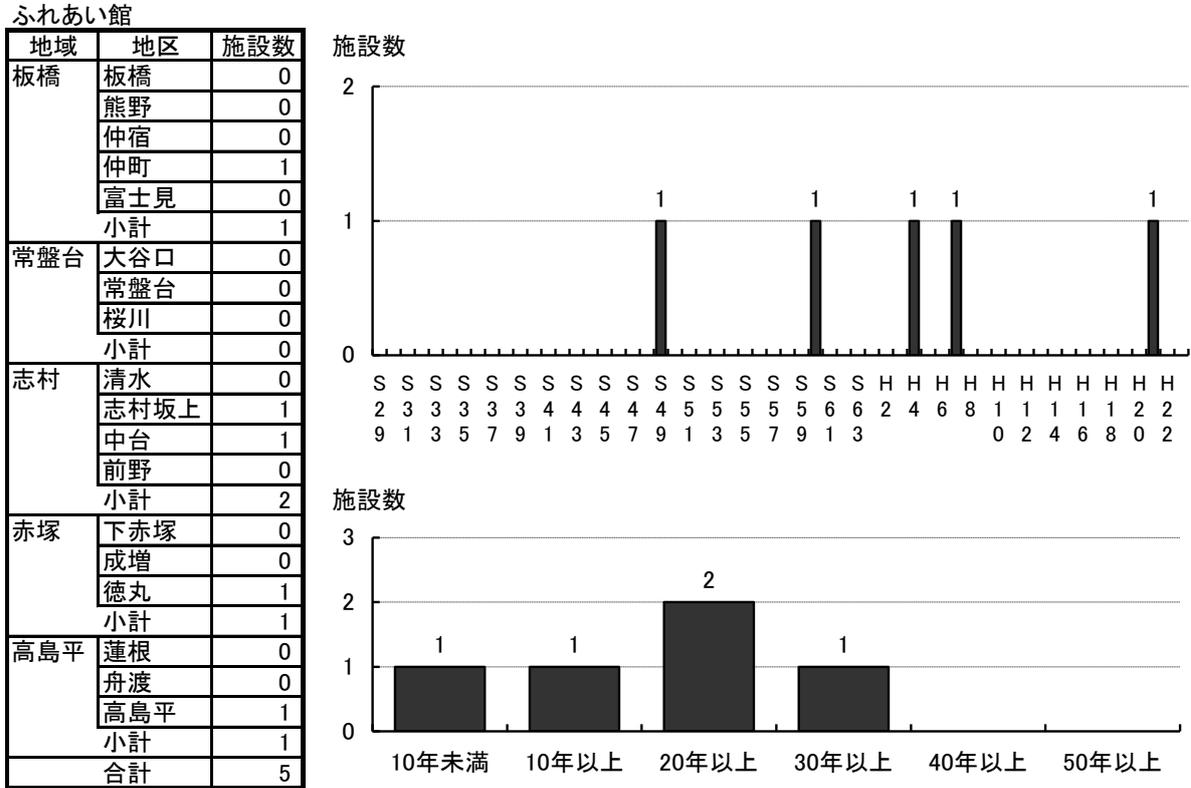


図 3.71 地区別・経過年別設置状況（ふれあい館）

(ii) 他区との比較

ふれあい館は、老人福祉法の老人福祉センターに該当する施設で、地域の高齢者に対し、健康の増進、教養の向上、レクリエーション等の便宜を総合的に供与することを目的としています。規模及び機能により、特A型、A型、B型に分かれており、板橋区は5館全てA型施設です。中野区はA型施設4館、B型施設17館。豊島区はA型施設が1館、B型施設は18館。杉並区と練馬区ともA型施設が1館となっています。

表 3.26 老人福祉センター設置基準

項目		老人福祉センター種別		
		特A型	A型	B型
建物等 設備	規模	800㎡以上	495.5㎡以上	165㎡以上 495.5㎡未満
	立地条件	老人の利用上の便宜を図ることが可能		
		事業を円滑に行えること		
				A型との有機的な連携
	所長室	○	○	
	管理人室			○
	事務室	○	○	
	生活相談室	○	○	○
	健康相談室	○	○	○
	診察室	○		
	検査室	○		
	栄養指導室	○		
	保健資料室	○		
	機能回復訓練室	○	○	
	集会及び運動指導室	○		
	集会室		○	○
	教養娯楽室	○	○	○
	図書室	○	○	
浴場	○	○		
便所	○	○	○	
他の社会福祉施設等との設備の共用		可	可	可

表 3.27 他区との比較一覧表（老人福祉センター該当施設全体）

	施設数	面積あたり施設数 (施設数/k m ²)	高齢者人口あたり施設数 (施設数/千人)
板橋区	5	0.16	0.05
中野区	21	1.34	0.35
杉並区	1	0.03	0.01
豊島区	16	1.23	0.31
練馬区	3	0.06	0.02
特別区平均	5.8	0.22	0.08

出典：「特別区の統計（平成 23 年度）」

表 3.28 他区との比較一覧表（老人福祉センター A 型該当施設）

	施設数	面積あたり施設数 (施設数/k m ²)	高齢者人口あたり施設数 (施設数/千人)
板橋区	5	0.16	0.05
中野区	4	0.26	0.07
杉並区	1	0.03	0.01
豊島区	1	0.08	0.02
練馬区	3	0.06	0.02
特別区平均	1.6	0.06	0.01

出典：板橋区資料

(iii) 利用状況と整備状況の推移

利用状況は概ね横ばいに推移しています。

平成 21 年には、志村ふれあい館が改築されています。

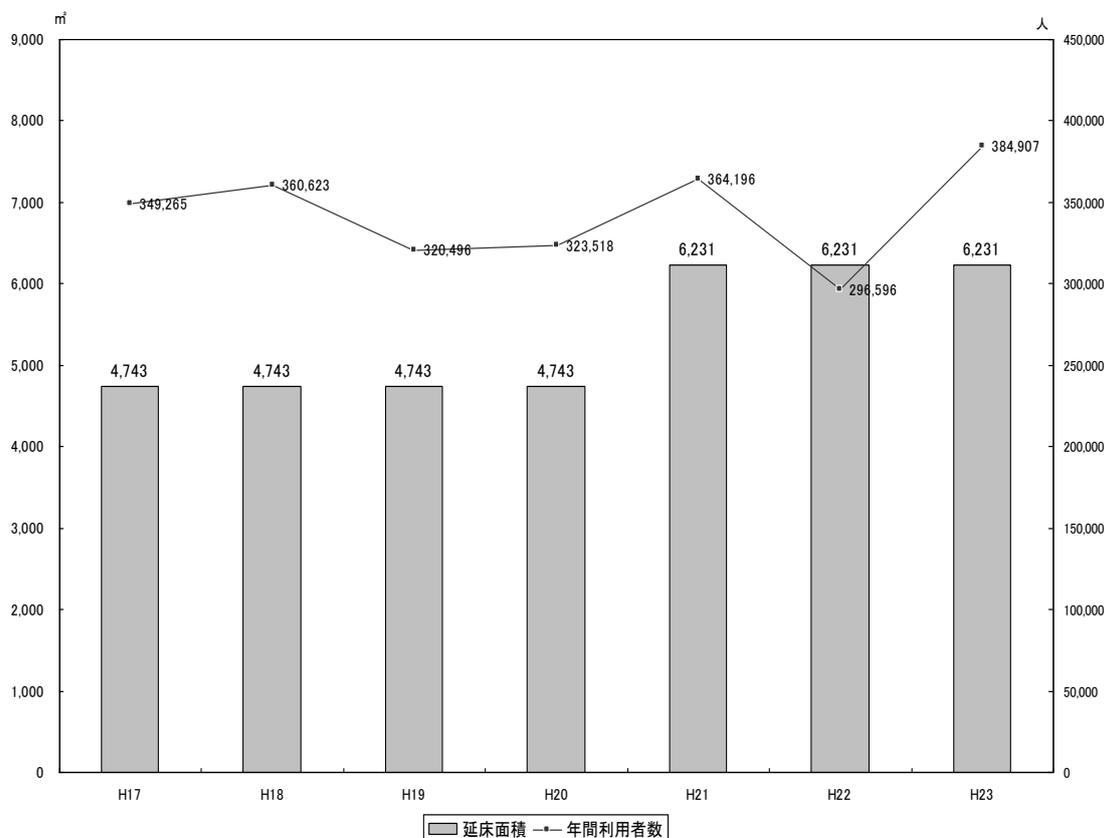


図 3.72 年度ごとの利用者数と保有面積の推移

(iv) 施設ごとにみた利用状況の把握

ふれあい館の年間利用者数は約 50,000 人から 100,000 人程度となっており、1 日平均利用者数は、施設により 180 人から 380 人程度となっています。高齢化の進んだ高島平地域の利用者数が最も多くなっています。

地域	地区	施設名称	築年数	年間利用者数	1日平均利用者数	各地域の高齢者人口
板橋	仲町	仲町ふれあい館	17	83,517	280	23,561
志村	志村坂上	志村ふれあい館	3	75,484	250	24,499
	中台	中台ふれあい館	20	54,209	180	
赤塚	徳丸	徳丸ふれあい館	27	70,592	233	19,480
高島平	高島平	高島平ふれあい館	38	101,105	383	22,876
平均値				76,981	265	-

※利用状況は平成 23 年度の実績

図 3.73 施設ごとにみた利用状況（ふれあい館）

(v) 将来LCCのシミュレーション

将来 50 年間で年度あたり平均費用は約 0.4 億円、平成 37 年度まででは約 0.5 億円が必要となります。累計のコストは 50 年間で 27.3 億円、平成 37 年度までで 5.7 億円かかります。

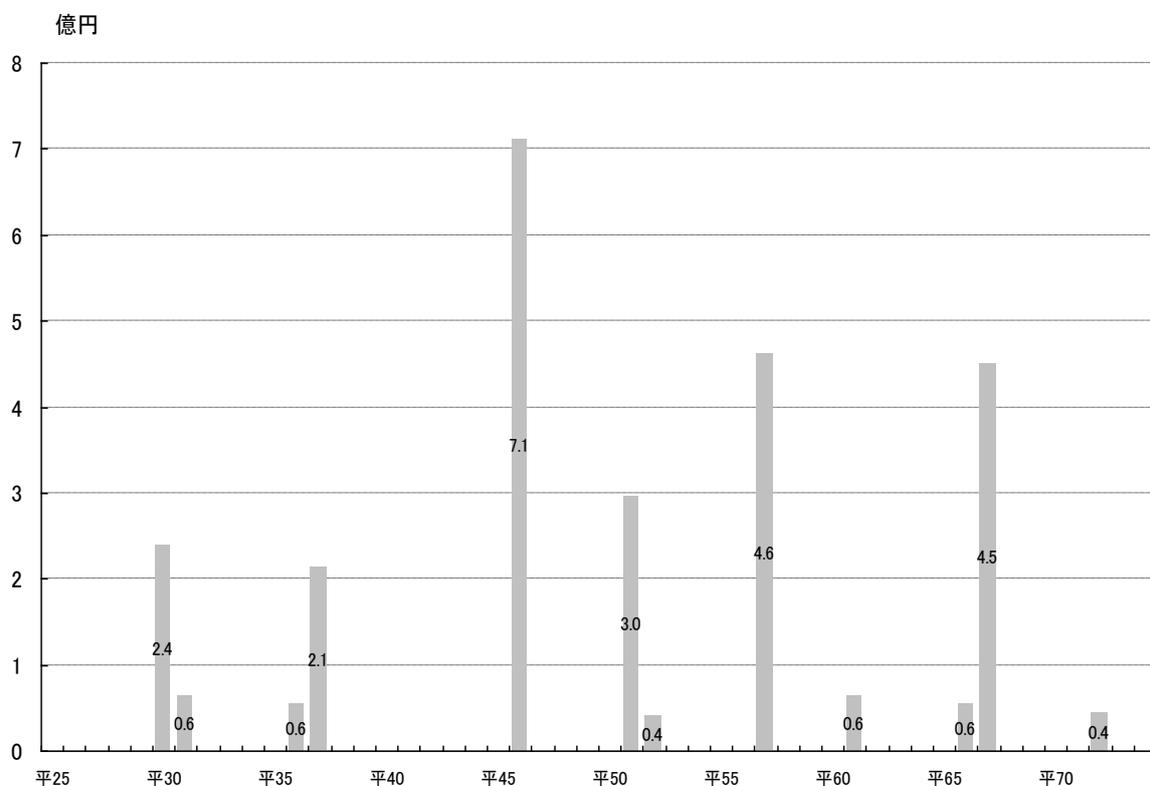


図 3.74 LCC算出結果 (ふれあい館)

3-10-3 保健・健康増進施設

(1) 配置状況

昭和 50 年に東京都から 3 保健所 1 保健相談所の移管を受け、その後 1 施設整備し、現在は 1 保健所 5 健康福祉センターとなっています。地域における保健衛生活動の中核的機関として業務を行っています。

3 施設は建築後 30 年以上を経過しています。



図 3.75 施設配置図（保健・健康増進施設）

(2) 管理運営経費

管理運営経費は下表のとおりとなっています。

表 3.29 管理運営経費（平成 23 年度）

施設種別	管理運営経費		
	内訳		一施設の平均
板橋区保健所・ 健康福祉センター (6)	物件費	122 百万円	212 百万円
	維持補修費	3 百万円	管理運営経費の合計額
	人件費	1144 百万円	1269 百万円

(3) 各施設の現況

① 保健所

(i) 地区別・築年別にみた設置状況

ここでは保健所1施設、健康福祉センター5施設の計6施設を対象としています。保健所は区内に1か所、健康福祉センターは概ね各地域に1施設設置されています。

保健所

地域	地区	施設数
板橋	板橋	2
	熊野	0
	仲宿	0
	仲町	0
	富士見	0
	小計	2
常盤台	大谷口	0
	常盤台	0
	桜川	1
	小計	1
志村	清水	0
	志村坂上	0
	中台	0
	前野	0
	小計	0
赤塚	下赤塚	1
	成増	0
	徳丸	0
	小計	1
高島平	蓮根	1
	舟渡	0
	高島平	1
	小計	2
合計		6

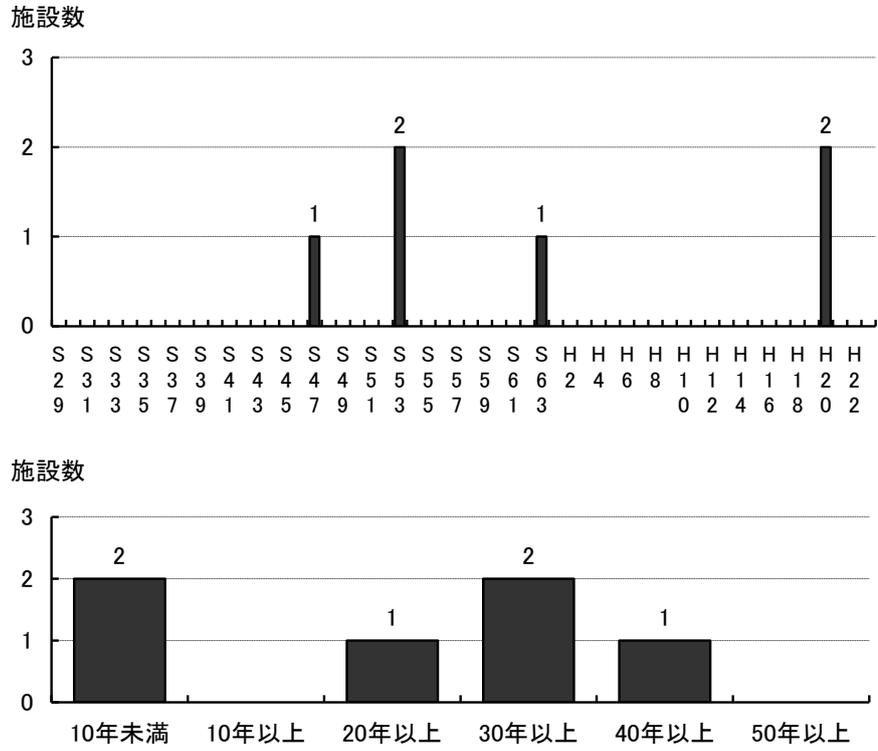


図 3.76 地区別・経過年別設置状況（保健所）

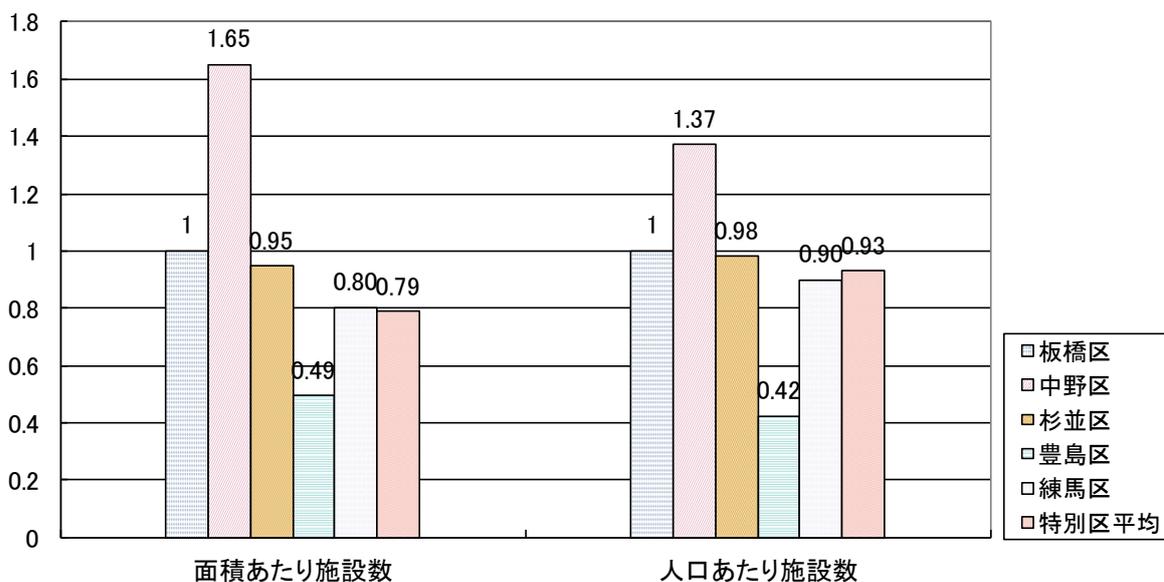
(ii) 他区との比較

保健所は各区に1か所設置されているため、ここでは整備数に差のある板橋区健康福祉センターと同様の機能を有する施設について比較しています。中野区のみ、整備水準は高くなっているものの、特別区平均を含め、やや板橋区の実績は高いことが分かります。

表 3.30 他区との比較一覧表

	施設数	面積あたり施設数 (施設数/k m ²)	人口あたり施設数 (施設数/千人)
板橋区	5	0.16	0.010
中野区	4	0.26	0.013
杉並区	5	0.15	0.010
豊島区	1	0.08	0.004
練馬区	6	0.12	0.009
特別区平均	3.3	0.12	0.009

出典：板橋区資料



出典：板橋区資料

図 3.77 他区との比較（板橋区の実績水準を1とした場合）

(iii) 将来LCCのシミュレーション

将来50年間の年度あたり平均費用は約1.1億円、平成37年度まででは、約0.9億円が必要となります。累計のコストは50年間で54.3億円、平成37年度までで11.0億円かかります。

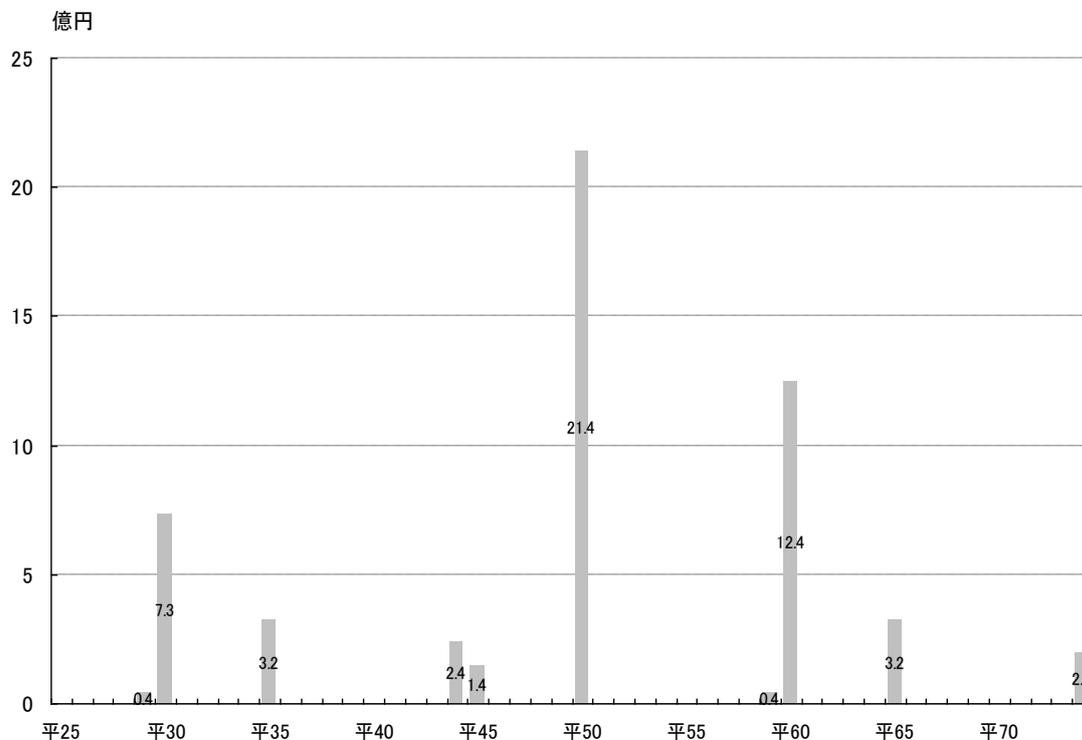


図 3.78 LCC算出結果 (保健所)

(iv) 施設ごとにみた利用状況の把握

地域	地区	施設名称	築年	相談件数 (区民何でも相談件数)	妊婦健康診査 受診票交付数
板橋	板橋	板橋健康福祉センター	平20	4,478	1,276
常盤台	桜川	上板橋健康福祉センター	昭53	1,468	531
赤塚	下赤塚	赤塚健康福祉センター	昭53	1,746	1,330
高島平	蓮根	志村健康福祉センター	昭63	2,090	1,146
高島平	高島平	高島平健康福祉センター	昭47	1,456	419
平均				2,248	940

出典：「平成24年度板橋区の保健衛生」

3-10-4 資源環境施設

(1) 配置状況

清掃事務所は4か所7棟（板橋東清掃事務所・板橋西清掃事務所・志村清掃事業所（事務所棟・自動車修理場）・西台中継所（管理棟・休憩所・積替場上屋））設置されています。この他、リサイクルプラザ（処理ゾーン・プラザゾーン）、エコポリスセンター、熱帯環境植物館、ホテル飼育施設があります。清掃事務所は建築後30年～40年経過しています。



図 3.79 施設配置図（資源環境施設）

(2) 管理運営経費

管理運営経費は下表のとおりとなっています。

表 3.31 管理運営経費（平成 23 年度）

施設種別	管理運営経費		
	内訳		一施設の平均
清掃事務所 (7)	物件費	73 百万円	234 百万円
	維持補修費	3 百万円	管理運営経費の合計額
	人件費	1562 百万円	

施設種別	管理運営経費		
リサイクルプラザ (処理ゾーン・ プラザゾーン) (指) (2)	内訳		一施設の平均
	物件費	28 百万円	14 百万円
	維持補修費	0 百万円	管理運営経費の合計額
	人件費	物件費に含む	28 百万円

施設種別	管理運営経費		
エコポリス センター (1)	内訳		一施設の平均
	物件費	105 百万円	243 百万円
	維持補修費	2 百万円	管理運営経費の合計額
	人件費	136 百万円	243 百万円

施設種別	管理運営経費		
熱帯環境植物館 (指) (1)	内訳		一施設の平均
	物件費	134 百万円	134 百万円
	維持補修費	0 百万円	管理運営経費の合計額
	人件費	物件費に含む	134 百万円

施設種別	管理運営経費		
ホテル飼育施設 (1)	内訳		一施設の平均
	物件費	30 百万円	43 百万円
	維持補修費	1 百万円	管理運営経費の合計額
	人件費	12 百万円	43 百万円

※使用料・手数料収入が、エコポリスセンターは1百万円、熱帯環境植物館は1百万円あります。また、エコポリスセンターは、平成23年度まで区直営施設でありましたが、平成24年度から指定管理者制度を導入しています。

(3) 各施設の現況

① 清掃事務所

(i) 地区別・築年別にみた設置状況

清掃事務所は、平成12年に東京都から移管され徳丸地区、蓮根地区にそれぞれ設置されています。大半の施設が築30年以上となっており老朽化が進んでいます。

清掃事務所

地域	地区	施設数
板橋	板橋	0
	熊野	0
	仲宿	0
	仲町	0
	富士見	0
	小計	0
常盤台	大谷口	0
	常盤台	0
	桜川	0
	小計	0
志村	清水	0
	志村坂上	0
	中台	0
	前野	0
	小計	0
赤塚	下赤塚	0
	成増	0
	徳丸	4
	小計	4
高島平	蓮根	3
	舟渡	0
	高島平	0
	小計	3
合計		7

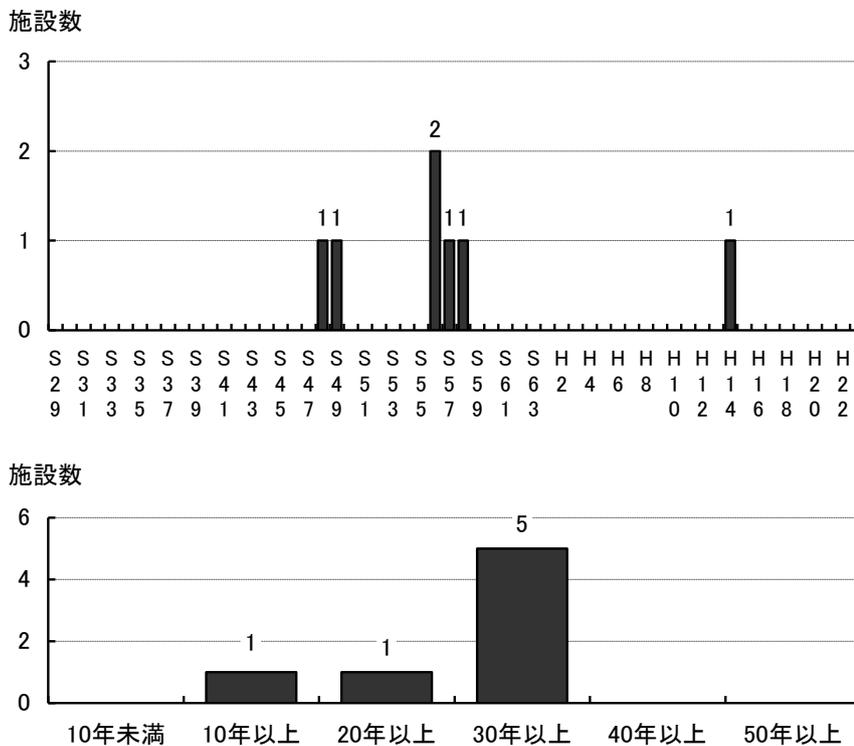


図 3.80 地区別・経過年別設置状況（清掃事務所）

② リサイクルプラザ

(i) 地区別・築年別にみた設置状況

リサイクルプラザは、区内で回収されたびん・缶を安定的かつ円滑に循環させるために、これらの資源を選別・圧縮する処理ゾーンと、ごみ・リサイクルに関する最新の情報を提供するとともに学習機能を付加したプラザゾーンの2つの施設から構成されています。平成18年に整備された新しい施設となっています。

リサイクルプラザ

地域	地区	施設数
板橋	板橋	0
	熊野	0
	仲宿	0
	仲町	0
	富士見	0
	小計	0
常盤台	大谷口	0
	常盤台	0
	桜川	0
	小計	0
志村	清水	0
	志村坂上	0
	中台	0
	前野	0
	小計	0
赤塚	下赤塚	0
	成増	0
	徳丸	0
	小計	0
高島平	蓮根	0
	舟渡	2
	高島平	0
	小計	2
合計		2

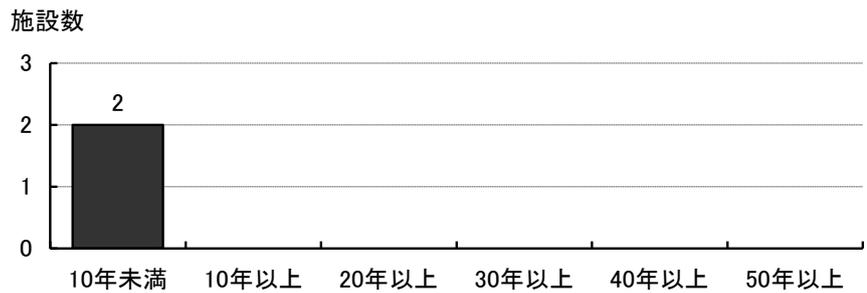
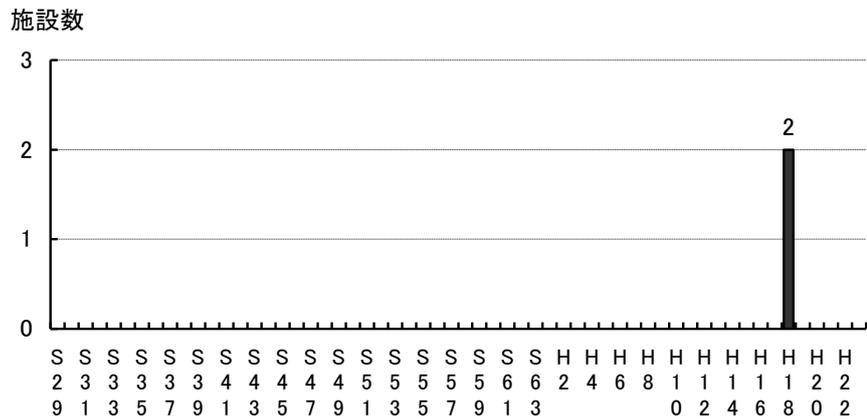


図 3.81 地区別・経過年別設置状況（リサイクルプラザ）

③ 環境

(i) 地区別・築年別にみた設置状況

エコポリスセンター、熱帯環境植物館、ホテル飼育施設が該当します。エコポリスセンターは平成7年、熱帯環境植物館は平成6年に整備されています。一方で、ホテル飼育施設は昭和49年に整備された施設を使用しています。

環境事務所

地域	地区	施設数
板橋	板橋	0
	熊野	0
	仲宿	0
	仲町	0
	富士見	0
	小計	0
常盤台	大谷口	0
	常盤台	0
	桜川	0
	小計	0
志村	清水	0
	志村坂上	0
	中台	0
	前野	1
	小計	1
赤塚	下赤塚	0
	成増	0
	徳丸	0
	小計	0
高島平	蓮根	0
	舟渡	0
	高島平	2
	小計	2
合計		3

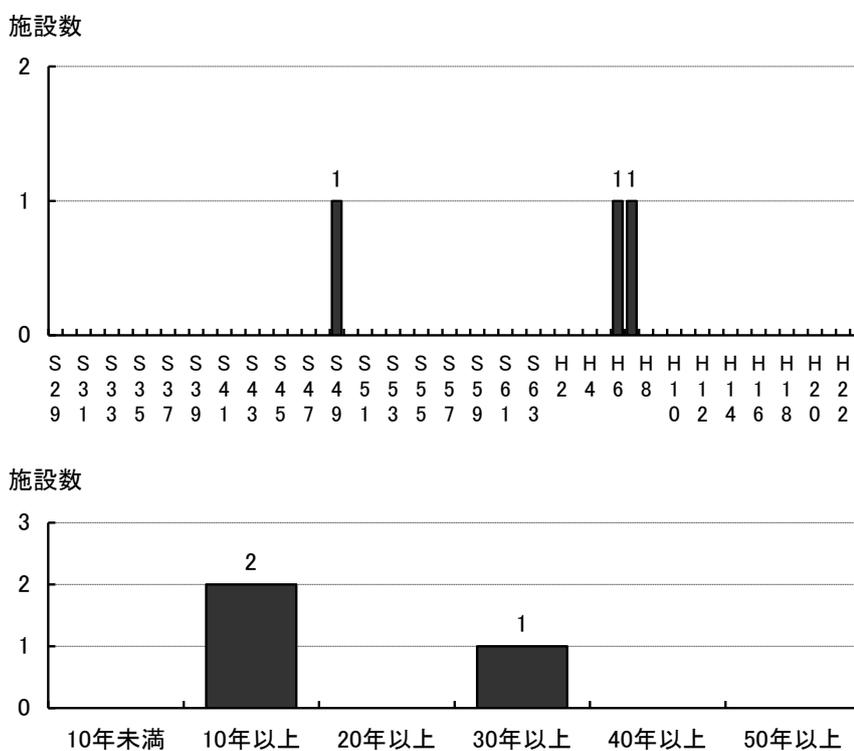


図 3.82 地区別・経過年別設置状況（環境）

(ii) 施設ごとにみた利用状況の把握

地域	地区	施設名称	築年	年間来館者数
志村	前野	エコポリスセンター	平07	140,633
高島平	高島平	熱帯環境植物館	平06	88,918
高島平	高島平	ホテル飼育施設	昭49	30,998
合計				260,549

※来館者数は平成23年度実績